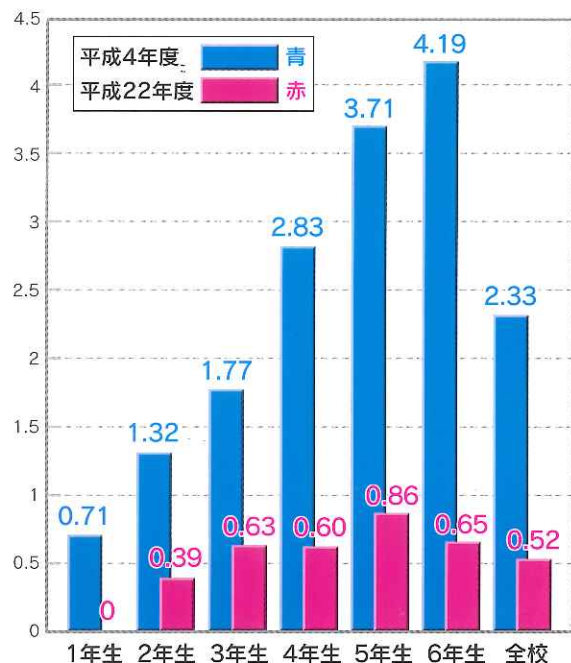




## むし歯の予防に大きな成果!

県内、某小学校では、平成4年度からフッ化物洗口を実施しています。1人平均むし歯本数は、6年生で平成4年度には**4.19本**あったのが、平成22年度では**0.65本**に減少しました。



## 佐賀県の児童・生徒のむし歯は減ってきています!

平成22年度、県内の小学校では173校(98.2%)、中学校では21校(20.5%)がフッ化物洗口を行っています。その成果は確実に出てきており、県内の児童・生徒のむし歯本数は減ってきています。



平成22年度佐賀県の12歳児1人平均むし歯本数は全国平均(1.29本)を下回る**1.00本**でした。



九州ではNo.1!  
全国で第7位

お問い合わせは

社団法人 佐賀県歯科医師会

〒840-0045 佐賀県佐賀市西田代 2-5-24

TEL(0952)25-2291

FAX(0952)22-7586

URL <http://www.saga-dental.or.jp>

# がばいおいか! 6

## フッ化物とむし歯予防

～フッ化物の効果と安全性を理解するために～



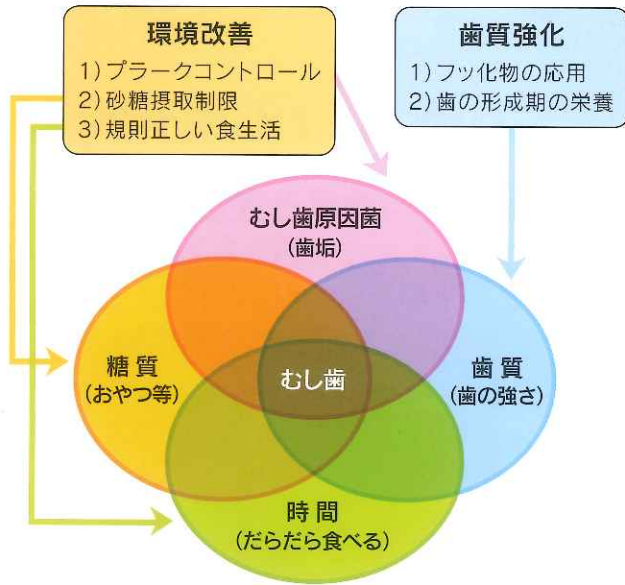
乳幼児や児童・生徒のお口の健康を守るために必要なことは、まずむし歯予防です。

このむし歯予防に欠かせないのが、フッ化物を利用したむし歯予防法です。佐賀県は、子どものむし歯が非常に多い県でしたが、保育所・幼稚園・小学校や中学校でのフッ化物洗口が普及しており、むし歯の数は減少傾向にあります。子どもたちの健やかな成長・発育のために、むし歯予防に有効なフッ化物を利用して**むし歯ゼロ**をめざしていきましょう。

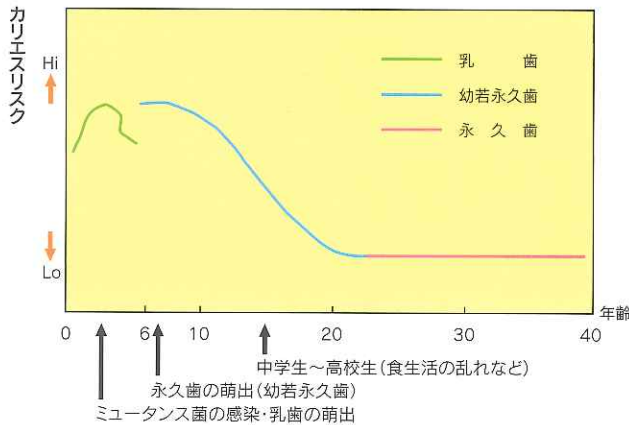
社団法人 佐賀県歯科医師会

# バランスのとれたむし歯予防

むし歯の発生要因(カイスの輪)と予防法



## むし歯になりやすい時期



歯が生え始めてから20歳までが非常にむし歯になりやすい時期です。生涯を通じて自分の歯で食べるためには、この時期にむし歯予防をすることが大変重要なことです。

# フッ化物は自然の栄養素!

フッ化物は自然界に多く存在し、色々な食べ物の中にも含まれています。



## なぜフッ化物はむし歯予防に効果があるの?

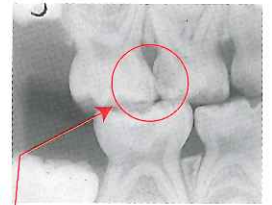
むし歯は、糖を分解して酸をつくりだします。その酸が、歯の表面のエナメル質を溶かし、穴をあけます。こうしてできた穴がむし歯です。

- 歯の表面からフッ化物が取り込まれ、**抵抗力の強い歯**がつけられます。
- むし歯は自然には治らないとされていますが、初期のむし歯は**再度カルシウム等が沈着(再石灰化)**することにより元に戻ることがあり、**フッ化物はこの動きを盛んにします。**
- フッ化物は**むし歯菌の動きを抑制**します。

【口腔内写真】



【エックス線写真】



歯の根元や、歯と歯のすき間など歯みがきでは予防しにくいところもフッ化物の応用で予防が可能です。

## 生涯を通じた上手なフッ化物の利用法

ステージ	出生	保育所 幼稚園	小学校 中学校	高校	成人	老人
年齢	0 1 2	3 4 5	6-12-15	16-18	19-64	65-
家庭	← フッ化物配合歯磨剤、フッ化物スプレー → ← 家庭でのフッ化物洗口 →					
歯科医院 保健センター	← フッ化物歯面塗布 →		塗布 →			
保育・幼稚園 小・中学校	← フッ化物洗口 →					
地域全体	← 水道水フッ化物添加 (現在、日本では実施されておりません) →					

## フッ化物を利用した3つのケアでむし歯予防

1. ホーム・ケア  
(家庭でフッ化物配合歯磨剤でのハミガキ)
2. プロフェッショナル・ケア  
(歯科医院での定期的なフッ化物歯面塗布)
3. パブリック・ケア  
(保育所・幼稚園・学校でのフッ化物洗口)